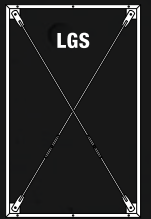


Theme

21世紀人の賢い住宅のカタチ 現代の茶店、街道筋の モーターカフェについて考える

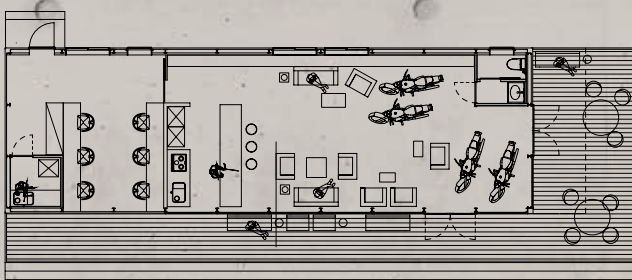
街道筋の一定の距離ごとに、旅人が疲れをいやす場所が必要。今のニッポンには
バイクツーリングの為の基礎環境がない。そこで今回はモーターカフェの理想像を考えます。



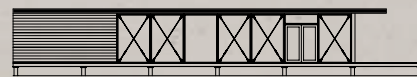
30

PANELS

FLOOR PLAN



長手10スパン、短手3スパンという最も効率的な高床式建物です。縦横比率のプロポーションも均整がとれています。平屋建ては上に乗る荷重がないので、トラス梁を利用することで最大スパンの3スパン=5.4mを柱のない空間にすることができます。向かって左は運営上の事務所スペースです。新車バイクやカスタム対応などの営業をしながらカフェを運営する施設になっています。



均整のとれた10スパンのプロポーションですが、右側のルーフデッキを伸ばしていくことで、道路からの見た目の魅力がさらに強調されます。通り過ぎてまた戻ってきてしまうほど。



ツーリングルートにあたる道路からの視認性。一度見たら是非入りたいような建物がコンセプト。ミッドセンチュリースタイルを踏襲した、底の美しさが、内部の空間へ旅人を誘います。名物のホットドックとうまいコーヒーがあると事前に知っていれば、誰もがここを休憩ポイントにたくなります。この先のルートの情報も、ここに来れば仕入れることができる。こんな施設が一定距離ごとにあれば、旅はもっと楽しくなりますね。



道路と反対側の壁面にはデイトナハウスオリジナルの棚金物でディスプレイも自由自在です。構造体と同じ粉体塗装の棚金物。まさに構造体が家具になる瞬間です。天井に天然木。床はモルタル。骨の一部をラインで見せれば永い間愛着が持続する建物になります。"理屈の世界"ではない"自由の社会"ならではの空間です。



カスタムバイクとゆったりしたカフェ空間。ここは地元の仲間が集う場所であると同時に旅の人たちが疲れをいやして空腹を満たし、バイクに給油もできる憩いの場であるわけです。四国88カ所をいえば起点にあたる宿坊に様な位置づけの空間です。

INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

ヨシ技術の発達で、今新たに二つの社会が浮かび上がってきました。まじめな固定化生活と、自由な漂泊生活。理屈の社会と自由の社会。その両方をバランスよく営むのが21世紀人の賢い作法かもしれません。バイクツーリングは、目的地に合理的に最短距離で到着することが目的ではなく、道中の気候風土や事物を肌感覚で味わう旅だとすれば、それは、自由の社会に属するものです。今回はそれにふさわしいモーターカフェを提案してみます。

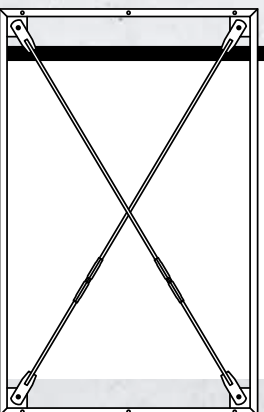
デザインの基調はミッドセンチュリースタイル。外部の環境に対して大きく開放された直線的デザイン。工法は高床式。ロードサイドに農地転用の場合、道路から約1m以上道路面が下がっている場合が多く、余分な擁壁や基礎を作らない合理的な手法とデザイン性を兼ね備えています。ソフト面であるカフェは地域のコミュニティの起点になるもので、遊牧民同志のネットワーク構築場所としても一役買います。ツーリングルートの一一定の距離ごとに、こんな旅人向けの憩いの場所がある。2ヶ月に1回でも旅をすることで、あなたもまた現代の遊牧民になるのです。

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI

社会は相矛盾する二つの性格を持っている。よく、ハレとケ、と表現される二重性です。私たちの祖先は約1万年前、長い流動民の生活から大規模定住社会を選択。その変化が縄文時代です。定住すればたくさんの人を養えるが、その代償は大きい。すぐに日常(ケの社会)が煮詰る。だから先人たちはシステムとして、自由な時間感覚の非日常(ハレの社会)を組み込んだのです。代表的な例が祭です。祭りは無礼講。祭の時間感覚は普段とは違います。とはいえ、高度成長期、共同体が解体してその二つの社会というシステムは崩壊し始めています。しかし、コミュニティシ

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽鋼鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「C チャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。"柱"と"梁"と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。



デイトナ不動産

NEWS02

出雲モーターホテルも完成間近 OCEAN BASE“HAGANE”の オープンが5月25日に決定!!



事前宿泊予約も受付開始

詳しい施設情報は専用WEBサイトで検索してみてください。あらかじめ予約をすれば地元和牛や魚のBBQセットも予約可能です。また、現地はサーフィンのスポットでもあり、レンタルボードも完備します。神話の里で、新鮮なジャパンクルが再発見できそうですよ。



かねてからお伝えしておりました、出雲のモーターホテルプロジェクト『オーシャンベース“HAGANE”／鋼』がいよいよ5月25日にオープンする運びとなりました。

出雲大社から長く続く海岸のもう一方の端にある多伎という地域。夕焼けの美しい場所として古くから有名で、それは日本遺産の夕日100選にも選ばれるほどです。各室から鉄骨フレーム越しの海の眺めは、今まで見たことのないような新境地で、景色というより海と一体になる感じです。また、2Fのテラスからの海に沈む夕日の美しさには、もはや言葉は不要。

バイクツーリングに際して、安心して愛機を停められる宿泊施設は本当に少ないという現状に、この施設は明確な回答を与えるモーターホテルになると我々は信じています。

料金は部屋単位の価格設定なので多人数でも宿泊可能。仲間とのツーリング後、夕方のビールとBBQ、夜の楽しさと波の音、さわやかな朝の空気、いろんなシーンが目に見えますね。ここはサーフスポットでもあり、レンタルボードも完備しますので、翌朝すぐに出発せず、もう一日滞在するのも◎。まさにニッポンの新しいモーターライフの扉を開くものになることでしょう。

都会での忙しい日常を忘れて、気の合う仲間と“こころの自由”を満喫してみたいいかがでしょうか？

OCEAN BASE HAGANE ob-hagane.com



デイトナ不動産 NEWS01

鉄骨と木々の緑のコントラストを楽しむ 森の中のオフィスの実際例

鉄骨の素材感とガラスの向こうの森の空気感がなんとも心地よい仕事場を演出。
デイトナハウスの“働き方改革”の提案です。

Text/Atsushi TAMADA

埼玉県飯能市は、多摩産材という杉、檜などの針葉樹材木の産地です。また、植林していない照葉樹林も豊富に残っており、縄文文化を成立させたドングリのなる木が気持ちよく生い茂っているのです。そんな森の中に、デイトナハウスの鉄骨オフィスが誕生しました。輸入食材を取り扱う『ファースト』さんのヘッドオフィスです。

デイトナハウスの特長であるスチールサッシュのガラスウォールをファサードにふんだんに配置して、建物の顔をデザイン。永い間飽きのこないフォルムを形成します。オフィスや店舗で特に大切なことは、外部のデザインと内部からのビューの両立。この物件はそのことにも十分配慮をしています。2Fオフィスの事務机に座してみると、まるで森の中で遊んでいる子ザルのような気持ちになるほど、木々の枝や葉が優しく包み込んでくれます。さながらツリーハウスのようです。集中しながらも“こころ”を失わない。とてもバランスの良い気持ちで仕事に打ち込めます。つや消し黒の鉄骨フレームと緑の相性も絶妙。余分な人為・表面的なデザインがないシンプルなフレームが、むしろ自然そのものの環境とすごく相性がいい。これは、和の建築の考え方に通じることなのかもしれません。



ガレージアパートでもおなじみのガルバリウムを部分的に使用しています。構造フレームに緑だられた中に、ガルバリウムの壁面という取り合わせはハイバーなコンテナを想起させます。



2Fのオフィス空間(右)と、1Fの接客サロン(左)。建物がやや緩い崖に隣接しているので、斜面に生えている木々のもっとも枝ぶりのいい部分が、ちょうど2Fと同じレベルになっています。このような立地に建物を建てる際の参考にしてみてください。

Far East Inc. fareastinc.co.jp



EVENT INFORMATION



デイトナハウスが プラグイン札幌に出展します！

今回で3回目の開催になるアメリカンカーイベント「プラグイン札幌」。カスタムカーやカスタムバイクが多数展示され、その他のアメリカンカルチャーも豊富に実感することができるイベントです。デイトナハウスも鉄骨建築とミッドセンチュリースタイルを表現するべく出店します。乞うご期待。

PLUG IN SAPPORO plugin-sapporo.com
日時：2018.5.5(17:00～20:00) / 5.6(9:00～17:00)
場所：AXES SAPPORO

デイトナ不動産

NEWS03

浜松デイトナハウスのショールーム 4月22日にオープン!! 同時にGLB内覧会も開催！

静岡の方々には朗報です。モーターライフの聖地浜松で、いよいよ4月22日(日)にデイトナハウスのモデルルームがオープンします。この建物は実はニューバージョン。ファサードの外壁は、グラスファイバーで強化されたコンクリートパネルに断熱材が一体化されたLGSパネル。高耐久、高断熱と性能に優れるだけではなく、デザイン面でも画期的。スチールサッシュのシャープなラインとの相性も抜群です。すぐ横に同時に建築しているガレージアパートGLBも入居者募集中。当日は同時に内覧会も開催します。一度の住宅、店舗の実例とガレージアパートを両方見ることができる絶好の機会。のぞいてみてはいかがでしょうか？

Daytona HOUSE xLDK Shizuoka
053-482-7415
www.balancedesign.jp/
daytonahouse

